

神楽面の魅力

石見神楽面と日本の神楽面

石見神楽で用いられる面は、もとは木彫りでしたが明治期より長浜人形(浜田市)や、市木面(古技法)の職人たちの創意工夫により、和紙を張り重ねて作る張子面が生み出されました。地元の粘土で型を作り、強靱な石州和紙(ユネスコ世界遺産登録)を幾重にも張り重ねて作る石見神楽面はとても軽く簡単には壊れない丈夫さがあります。同じ面の量産が可能となり、各家や商店に縁起物として飾る文化が生まれました。

今回の展示では、石見神楽と共に構成文化財として日本遺産に認定された、「神楽面」にスポットを当て、伝統的造形や彩色など美術的価値や魅力を紹介します。

自ら舞い手でもある石見神楽の面師、恵木勇也氏(江津市在住)は伝統的な技法を継承しています。日本(宮城県「南部神楽」東京都「里神楽」宮崎県「高千穂神楽」)の若き面師との交流の中で「神楽面が表現するかたち」をこの機会にぜひご覧ください。

恵木 勇也

EGI YUYA 石見神楽面師

昭和60年、島根県江津市に生まれる。幼少期、地域の面作家・林清人氏の面作りに触れて興味を抱き、基礎を学び独学で制作を開始。

平成24年御面屋恵木舞工房を開設。

明治期に確立した石州和紙張子技法による古典技法を探求し、古面の修復・復元に取り組む一方、新たな素材、表現も研究し舞台芸術や服飾業界など他分野へも挑戦。石見神楽の舞手の経験も活かしつつ、表情と舞いやすさを追い求め制作を続けている。

また面制作の傍ら、各地での講演活動、ワークショップをはじめ展示会の企画等、石見神楽の魅力を伝えるべく勢力的に活動。

2024年には東京・銀座にて、全国の4人の面師と共に企画展「面の界」を主宰開催。日本の神楽面の美術的可能性を示した。



出展



恵木 勇也

島根県 石見神楽面
【恵木舞工房】



工藤 省吾

宮崎県 高千穂神楽面
【神楽面工房天岩戸木彫】



佐藤 高広

宮城県 南部神楽面
【神楽面師】



田中 俊成

東京都 里神楽面
【面打】

・WOW inc [神楽インスタレーション]

トークイベントのお知らせ

4月6日 sun

□午前10時30分より開催
(1時間程度)
□参加料無料(入館料必要)

石見神楽面師

[恵木勇也氏による]

4月13日 sun

□午前10時30分より開催
(1時間程度)
□参加料無料(入館料必要)

日本各地の

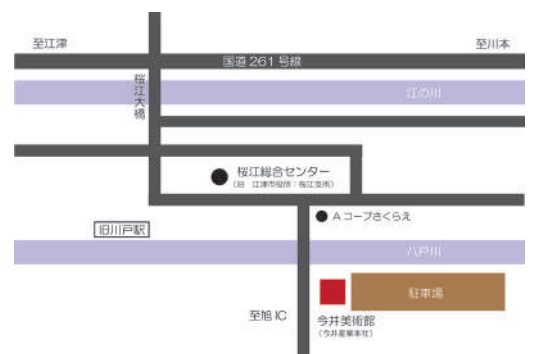
[4人の面師による]

●展示替えについてのご案内●

4月1日～4月11日 …………… 石見神楽面

4月12日 …………… 休館日

4月13日～4月27日 …… 石見神楽面と日本の神楽面



今井美術館

島根県江津市桜江町川戸472番地1

0855-92-1839 (お問合せ/平日9時～16時)